

# 令和6年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 松阪工業高等学校 全日制 )

## 1 目指す姿

(1) 目指す学校の姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会人として必要とされる人材となるために、挨拶をはじめとする基本的な生活習慣を身につけ、人権感覚豊かな人間性を磨く学校</li> <li>○ 専門学科における知識、技術の習得に意欲や向上心を持ち、技術者として通用する専門性を養うとともに、地域からの信頼に応える学校</li> <li>○ 文武両道に成果を示すことのできる生き生きとした学校</li> </ul>
(2)	育みたい資質・能力 (育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な生活習慣と高いコミュニケーション能力を身につけた人権感覚豊かな生徒</li> <li>○ 仲間を大切にしながら部活動や資格取得等の取組を活発に行う生徒</li> <li>○ 希望の進路実現に向けて主体的、積極的に行動する生徒</li> </ul>
	ありたい 教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の個性を伸ばしながら人間性を高めることを常に意識し、生徒の成長を自らの喜びとする教職員</li> <li>○ 生徒の進路実現を目指し、基礎学力の向上や専門的な知識・技術の習得等に向けた弛まぬ努力を行う教職員</li> </ul>

## 2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p>〈生徒〉 希望進路の実現、わかりやすい授業の実施と基礎学力の向上、充実した学校行事や部活動等の実施</p> <p>〈保護者〉 基礎学力の向上、希望進路の実現。施設・設備等の教育環境の充実、学校行事等への参加機会の増加</p> <p>〈地域 (含む小中学校、就職・進学先)〉 社会人としての基本的な生活習慣や礼儀の養成、技術者としての広範な知識と高いコミュニケーション能力の育成、奉仕活動等の地域連携の充実</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p>〈保護者・地域〉 同上</p> <p>〈同窓会〉 本校の歴史と伝統を十分に理解し、本校生徒としての誇りと自覚を持つ、社会に有為な人材の育成</p>	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p>〈保護者・地域・同窓会〉 PTA活動、地域行事、インターンシップ、講演会等による学校経営への参画</p>
(3) 前年度の学校関係者評価など		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時間外労働の個人差の背景も踏まえた取組みを行ってほしい。</li> <li>○ ICTの活用のメリット(教材の共有が簡単にできる等)を活かして、教材研究にかかる時間の削減を。</li> <li>○ 闇バイトや詐欺など、生徒を取り巻く環境の変化を踏まえながら、現在の取組である交通安全教室や薬物乱用防止講話などについて継続してほしい。</li> </ul>	
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スペシャル補習や宿題テストなど、基礎力診断テスト以外の本校独自の取り組みにより、基礎学力は一定維持されている。</li> <li>○ 「チャイムが鳴るまでに授業の準備をする」、「授業中は集中して取り組む」などの授業規律を徹底し、学習に取り組む雰囲気をもっとよくする必要がある。</li> <li>○ 教科指導をはじめ、部活動指導や資格取得支援等で自律的な教育活動を展開しているが、質の向上という点で改善・工夫の余地がある。</li> <li>○ 挨拶や礼儀等の基本的な生活習慣を身につけつつあるが、コミュニケーション能力や語学力等これからの社会の担い手となる力の育成は十分ではない。</li> </ul>	
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 複数顧問の配置や外部指導者の活用も行っているが、部活動指導について、時間外労働が多くなる要因のひとつとなっている。</li> <li>○ 本校への関心が高まり、諸行事への協力等の地域からの要請が増加しているが、生徒や教職員の間には多忙感も少なからず生じている。</li> <li>○ 教職員間の効果的な情報共有に資するICT活用を研究する必要がある。</li> <li>○ 中学生のキャリア形成・志望につながる、魅力的・積極的な広報活動を進めることが求められている。</li> </ul>	

### 3 中長期的な重点目標

<p>教育活動 【カリキュラム・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒が自己肯定感（自尊感情）を高められるよう、基礎・基本を重視した学びにより、基礎学力の向上・定着を図る。</li> <li>○ 部活動指導や資格取得支援の取組を推進するとともに、特別支援教育や教育相談の充実を図る。</li> <li>○ 基本的な生活習慣の確立の取組を推進するとともに、実践的・体験的学習を重視した工業の専門科目を学ぶことにより、社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力の育成を図る。</li> <li>○ グローバルに活躍できる人材を育成するため、会話を重視した外国語の教育によりコミュニケーション能力の向上を図る。</li> <li>○ 生徒が互いの良さや多様な考えを認め合い、自主的・実践的に活動できるよう、人権教育、道徳教育、命を大切にす教育、主権者教育の充実を図る。</li> <li>○ 専門科目の学習により身に付けてきた知識、技術などを基に、工業に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づき解決策を探究し、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する「課題研究」に取り組む。</li> </ul>
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Society5.0 の超スマート社会に対応できる資質・能力を育むとともに、生徒が主体的・対話的な深い学びが実践できるよう、ICT を有効活用した授業改善と教科間の連携を積極的に推進する。</li> <li>○ 中学生や地域住民が本校を魅力あふれる学校として認知できるよう、マスコミや SNS を使った日々の情報発信をはじめとする広報活動を積極的に推進するとともに、地域活動等における連携・協働を図る。</li> <li>○ 基礎学力の向上に向け、学校全体で取り組み、情報を共有する。</li> <li>○ 様々な分野の校内教職員研修会を定期的実施する。</li> <li>○ 業務全般について時間管理を意識した効率化を進め生徒も職員も生き生きした学校を目指す。</li> <li>○ 風通しのよい職場づくりに取り組み、個々の教職員との対話を大切に、学校に対する思いを共有し、全教職員の意思統一を図る。</li> </ul>

### 4 求める生徒像

<p>入学時に期待される 生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挨拶をはじめとする基本的な生活習慣が身につけている生徒</li> <li>○ 専門的な知識・技能を身につけたい生徒</li> <li>○ ものづくりに興味・関心があり、資格取得にも積極的に取り組める生徒</li> <li>○ 勉学及び部活動・生徒会活動等に興味と意欲を持っている生徒</li> </ul>
--	---

## 5 本年度の行動計画と評価

### (1) 教育活動

【活動指標について】 取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】 取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】 「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
教科等指導 生徒指導	<p><b>(1) 基本的な生活習慣および学習習慣の確立を図る。</b></p> <p>【活動指標】</p> <p>① 毎日の登校指導、挨拶の励行 ② 授業取組改善週間の実施 ③ 基礎力診断テストの成績不振者に対して、次回のテスト前にスペシャル補習を実施 ④ 基礎力診断テストとは別に one-week トライアルを活用した宿題テストを実施</p> <p>【成果指標】</p> <p>遅刻者数の減少 アンケートで意欲的な態度で授業に取組めた回答する生徒の割合 90%以上 基礎力診断テストの結果「Dゾーン」生徒数の減少及び「A・Bゾーン」生徒数の増加 ジュニアマイスター顕彰認定者数の増加</p>		◎
進路指導	<p><b>(1) 生徒の希望や適性に応じたキャリア教育の充実に努める。</b></p> <p>【活動指標】</p> <p>① 企業との情報交換を積極的に行い、企業と生徒のマッチングを図る。 ② 進学希望者への個人面談、個別指導の実施 ③ 1・2年生の進路ガイダンス・進路講話に合わせて、進路希望に関するアンケートを実施し、早期から具体的な目標を持たせる。</p> <p>【成果指標】</p> <p>就職希望者の内定率 100% 進学希望者の合格率 100%</p>		
その他の 生徒支援	<p><b>(1) 豊かな心の育成を図る。</b></p> <p>【活動指標】</p> <p>① HR等での個性や多様な考え等を認め合うとともに、いじめや暴力を許さない環境の整備 ② 年3回の学校生活等に関するアンケート（いじめアンケート）の実施 ③ 交通安全講話及び、薬物乱用防止講話をそれぞれ年1回実施</p> <p>【成果指標】</p> <p>学校生活の満足度調査において、肯定的回答90%以上</p>		

## (2) 学校運営等

【活動指標について】 取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】 取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】 「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学校の活性化	<p>(1) 教職員の資質の向上（授業改善）を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒への授業アンケートを実施し授業改善</li> <li>② 現職教育等の効果的な実施（年5回以上実施）</li> <li>③ 不祥事根絶に向けたコンプライアンス研修の実施</li> <li>④ 学校信頼向上委員会によるアセスメントの実施</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <p>教職員の不祥事の根絶、生徒・保護者からの信頼向上</p>		
魅力発信	<p>(1) 広報の充実（SNS等による情報発信・提供）に努める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① インスタグラム等の公式アカウント開設により、複数媒体による情報発信</li> <li>② 行事における本校のホームページ、X等の更新に加え、普段の学習（実習）風景の掲載</li> <li>③ 学校案内やHP等の広報媒体の魅力化</li> <li>④ 地域貢献活動への参画</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <p>入学希望者数の増加（12月調査 1.1倍（220名））</p>		
働き方改革の推進	<p>(1) 総勤務時間の縮減に努める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 各教職員が業務等を考慮し、各自で計画的に月1回以上定時退校日を設け定時退校を行う。</li> <li>② 会議時間の短縮及び会議の精選・削減</li> <li>③ 校内参加者のみの会議についてはペーパーレス化を進め業務を削減</li> <li>④ 学校閉校日を長期休業中に年間4日設定</li> <li>⑤ 留守番電・連絡ツールを導入し、欠席等の連絡に要する時間外を削減</li> <li>⑥ 調査・アンケートのICT化を進め、印刷・配付・集約に係る業務を削減</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 月平均時間外労働の削減（1人あたり2.5時間以下）</li> <li>② 年360時間超え並びに月45時間超えの時間外労働者のべ0人</li> <li>③ 年間休暇取得数の増加（1人あたり15日以上）</li> <li>④ 1時間以内に終了した会議の割合 90%以上</li> </ul>		◎